



「ボランチわ」は日産スタジアムボランティア情報誌です

2020年の日産スタジアム運営ボランティアを振り返る ～ コロナ禍により多くの日産スタジアムのボランティア活動が中止に！！～

2020年1月18日(土)、来賓者の方々やスタジアム関係者、そして多くのボランティアの皆さんが日産スタジアムの301号室に集まって、日産スタジアム名誉場長の小倉純二様による『日産スタジアムボランティア20周年記念講演会』が催されました。終了後、Socia21(ソシア21)に移動して『20周年記念パーティー』が盛大に行われました。今までのボランティア活動の思い出やこれからの抱負などの多くの声を聴くことができ、大変楽しい時間を過ごしました(詳細はボランチわ第36号創立20周年記念特集号を参照)。その頃、コロナ禍によって2020年の活動がほとんどできない状況になるとは誰も予想することができませんでした。今から思えばコロナ感染が拡大する前に20周年記念行事を終わらせることができたのは幸いでした。

日産スタジアムでは2月19日のAFCチャンピオンズリーグ2020と、2月23日のJリーグ(ガンバ大阪戦)の2試合が行われました。この2試合のボランティア活動はほぼ通常通りに行われました。すでにボランティア活動時にはアルコールによる手の消毒の徹底が図られて、コロナ感染予防に努めました。残念ながら、この2試合のみで今年の日産スタジアムの全てのイベントは中止となりました。

(一部のイベントは延期となりましたが、最終的に中止と決定されました)

3月末には、東京2020オリンピック・パラリンピック大会が2021年に延期されることが発表されました。日産スタジアムでは男子サッカー・女子サッカー競技の開催が決まっていた。また日産スタジアムボランティアの中には、オリンピック・パラリンピックのボランティアに応募されていた方も多くいました。コロナ感染の状況からしてやむを得ない決定ですが、オリンピック・パラリンピック大会に向けて気分が盛り上がっていたので、反動で落ち込みました。全てのイベントが中断した日産スタジアムを訪れたことがあります。昨年のラグビーワールドカップ2019™や横浜F・マリノスの優勝で盛り上がったスタジアムとは全く異なる静寂の中で、スタジアムの空気が止まっている感じがしました。

7月12日(日)に日産スタジアムにおけるJリーグの横浜F・マリノス戦が再開されました。しかし入場観客が5000人に制限されて、ボランティア活動の再開は見送られました。この頃、ボランティア事務局会議では将来コロナ流行が収束する方向に向かい、ボランティア活動ができるようになった時に、コロナ感染リスクをできるだけ無くして活動に行うにはどのような準備が必要なのか、今までのやり方をどのように変更すべきか話し合いました。

9月5日(土)、日産スタジアムで行われたJリーグ(川崎フロンターレ戦、入場観客数 4971人)を事務局メンバー2名(羽賀眞悟、久保勝美)が見学して感染防止状況などを調査しました。(詳細は次ページを参照)

10月21日(水)、日産スタジアムのJリーグの入場制限がさらに緩和され、名古屋グランパス戦に6607人の観客が入場しました。観客数の上限は引き上げられましたが、全席が指定であること、またボランティア皆さんの感染症



疫病退散の妖怪アマビエ

(安田十四雄作)

ボランティアの笑顔で、スマイルスタジアム

拡大防止を優先して活動はしないことに決定しました。コロナ感染が収束せず年内のボランティア活動は中止になりました。これだけ長期間、日産スタジアムボランティア活動が行えないことは過去にありませんでした。

ボランティアの方々の中には、コロナ感染がいつ頃になったら収束するのか心配になったり、今後活動を再開した際に感染することが気になり活動に二の足を踏んでいる方もいらっしゃると思います。一方、コロナ感染症防止対策を行って、今後のボランティア活動の再開を待ち焦がれている人もいます。

活動再開に向けて、ボランティア事務局会議やリーダー会議ではコロナ感染症防止対策を検討していきます。そして横浜F・マリノス担当者や日産スタジアムスタッフとコロナ感染症防止対策を取り決めます。

コロナ感染症防止対策として「3密(密集、密接、密閉)」を避けるために、従来の活動を見直して感染防止を図っていきます。マスクの着用や手洗いの徹底は避けて通れません。あくまでも試案ですが観客とのソーシャルディスタンスを保って、観客に大声で話しかけることを慎むことが求められることとなります。それでも、お子様連れの観客などが日産スタジアムで行われるイベントを楽しみにされて来場されますので、コロナ感染対策に万全を期して多くの観客に対して「笑顔のスタジアム」の心をきざんで未来に進んで行く道を模索していきましょう。(担当 久保勝美)

観客人数制限により、様変わりしたスタジアムの様子！

日産スタジアムでの新型コロナウイルス感染対策を調査する目的で9月5日(土)、事務局メンバーの羽賀眞悟と久保勝美がJリーグ(川崎フロンターレ戦、入場観客数 4971人)を視察してきましたので、その状況を報告します(注意:あくまでも9月5日の状況で、観客入場人数の制限緩和時には変更される場合があるかも知れません)。

東と西のゲートのみ使用して、その他の北と南のゲートは閉鎖していました。東と西のゲートの外側にはテントが設置されて、横浜シミズのスタッフが非接触の体温計を使って観客の体温を確認しています。観客はスマホをQRコード読み取り機でセルフチェックして、チケット確認を終わらせて入場します。横浜シミズのスタッフはQRコード読み取り機の近くに配置されていますが、QRコード読み取り機のエラーなど以外、観客に話しかけることはありません。従来の紙チケットは無効とされ、印刷したQRコード付きの紙チケットを持参している観客もわずかです。

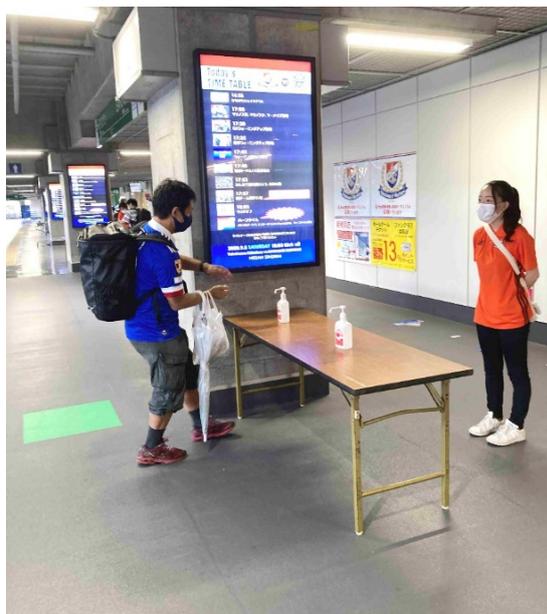
入場してきた観客は近くのアルコール消毒液を使って手の消毒を行います。その付近にも横浜シミズのスタッフが配置されて手の消毒を呼びかけています。観客席はサポーターズシートを含めて全席指定席です。そのため、従来のように開門時間前に長蛇の列を作ったり、入場時に席取りのために走ったりすることは一切なくなりました。1階席のゲート(4F)には3密を避けるために、隣の席を空けるように注意書きが張られています。従来、ボランティアが4Fや5Fの各ゲートで行っていたチケットチェックの場所には横浜シミズのスタッフは配置してなく、観客はゲートを通して場内に入ります。5Fのゲートからも自由に入場できます。この日は7Fへの立ち入りは禁止されていました。横浜シミズのスタッフはマスク着用が必須ですが、ゴム手袋やフェイスシールドは付けていません。



東と西のゲートの外側で観客の体温測定を実施



観客が自らQRコード読み取り機を使って入場



観客が手のアルコール消毒を行っています



各ゲートには「観客上限5000人試合諸注意事項」を掲示

写真を添付しませんでした。トイレの入り口や各ショップの前の床には「ソーシャルディスタンス」の注意喚起を示す足マークのシールが張られています。

1試合のみの調査ですが、観客は新型コロナウイルス感染症対応のルールに従っている様子でした。今後、ボランティア活動が再開する時にどのような活動になるか決まっていますが、その活動内容に沿った新型コロナウイルス感染症防止対策として何をしていくか検討する必要があります。(担当 羽賀眞悟、久保勝美)

2020年度グリーン&クリーン部会の活動について

新型コロナウイルス感染拡大により、グリーン&クリーン部会では活動制限と共に各イベントの一部が中止となりました。具体的には、グリーン&クリーン部会総会中止、毎年参加している第8回港区オーブンガーデン(4月、5月)の中止、新横浜公園内の作業は5月後半まで原則制限となりました。

このような状況でも新横浜公園市民活動支援事業に参加して「親子で楽しく米づくり、植えて覚えよう花の名前」として、活動してきました。(担当 中尾吉宏、写真提供 日産スタジアムスタッフ 久保勝美)

1. 田植え体験

- (1) 5月31日(日)実施でチラシを作成して準備を進めてきましたが、スタジアムが中止を判断しました。
- (2) 急遽、5月18日に部会員の6名、スタジアム事務所職員で代掻き、田植えを実施しました。



グリーン&クリーン部会員による田植え



今年は親子の参加募集はできませんでした

2. 案山子作り体験

- (1) グリーン&クリーン部会と事務所で協議し、参加者は最多で5家族に限定することと感染拡大防止対策を徹底することで、8月10日(日)実施を決定して、一般公募を始めました。
- (2) 当日、5家族が元気に参加、部会員18名で実施しました。参加者は楽しみ、喜んで帰宅しました。



ボランティアと家族がいっしょに案山子作り



お気に入りの服を案山子に着せます



毛糸を使って案山子の髪を作ります



出来上がった案山子を持って記念撮影(パチリ!)



新横浜公園の田んぼの横に案山子を展示しました。
 柵に並んだ案山子は子どもたちが家族と一緒に頑張って作った力作です。
 トーチを持った聖火ランナーがいます。子犬案山子を抱っこした子ども案山子もいます。

3. 稲刈り体験、花植え体験

- (1) 案山子作り体験を参考にして、参加人数を「密」にならない様に考慮し、10月4日(日)に実施しました。
- (2) 当日、体調不良で不参加の方もいましたが、14家族、部会員16名で実施しました。子どもさんの中には疲れた人もいましたが全員無事に帰宅しました。



参加者の親子に稲刈りのやり方を説明



稲刈りを体験してお米の収穫を楽しみました

4. 脱穀

- (1) 一般の公園利用者にも見てもらえる様に、田んぼの横の場所で実施しました。
- (2) 10月18日(日)、部会員9名で作業して、見学の3家族が体験しました。散策の家族も珍しそうに見ていました。今年度のお米の収穫は、籾付きで41.3kgで例年以上の豊作でした。お見事でした。



親子が脱穀作業を試してみました



しめ縄作りに使う稲藁も大切にそろえます

5. 中央広場の花植え、水撒き

- (1) 今年度は、麻生養護学校元石川分教室の生徒さんの実習ができず、部会員と事務所職員で実施しました。6月10日にマリーゴールド、サルビアを、10月12日にパンジー、ビオラ等を植え付けました。
- (2) 水撒きは、週1回、夏には週2回行いました。中央広場の環境整備を実施して、新横浜公園を訪れる人々の目を和ませています。



花植え・水撒きに参加した皆さん



中央広場はきれいな花々で飾られています

公益財団法人横浜市スポーツ協会公園管理局職員の人事異動のお知らせ

(令和2年4月1日付)

〈横浜市スポーツ協会公園管理局長 井上幸一さまご挨拶〉

日産スタジアムボランティアの皆様、こんにちは。令和2年3月末で退職されました倉知秀朗さんの後任として、4月1日に着任しました井上です。

コロナ禍の影響により中断していたJリーグの試合は、7月12日に収容人数5千人で再開された後、上限人数は順次引き上げられてきました。開催に際しては、マスクの着用、体温の測定、手指の消毒、隣席との身体的距離の確保等の感染防止策が講じられていますが、ボランティアの皆様の活動は休止となっており、心苦しく思っています。1日も早く皆様が活躍できる日が訪れることを心待ちにしています。

日産スタジアムでは、去年はラグビーワールドカップが開催され、来年は東京オリンピックの開催が予定されています。大規模イベント等の開催に際しては、お客様を迎える会場の環境整備が大切であるとともに、円滑な大会運営のためボランティアの皆様のお力添えが必要不可欠です。日産スタジアムを訪れる多くのお客様に満足していただけるよう、皆様と一緒に頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



井上幸一局長

令和2年度 日産スタジアム運営ボランティア事務局会議報告書(要約)

日時: 令和2年6月27日(土) 14:00~17:15 場所: 317号室

出席者: 安田、羽賀、久保(正)、大家、大橋、中尾、〈記録〉久保(勝)、堀川課長、横田、石崎

1. 令和2年4月1日付新横浜公園(日産スタジアム)人事異動に伴うご挨拶

令和2年4月1日より日産スタジアムを含む新横浜公園の指定管理者が「公益財団法人横浜市スポーツ協会」に変更されました。また同日付けで人事異動が行われましたので、ご挨拶がありました。

・横浜市スポーツ協会公園管理局長 井上幸一

前任の倉知さんの後任として、このたび就任しました。ボランティアのご協力があって日産スタジアムの活動ができています。コロナウイルスの影響で延期となっていたJ1リーグが再開されます。例年通り、ボランティアの方々のご協力を得て、活動を進めていきたいと思っております。

・事業課担当課長 江藤和広

井岡さんの後任として、赴任しました。私は2001年に横浜国際総合競技場で仕事をしていました。宜しくお願い致します。

・事業課 米原優太

新しい仕事を教えてもらって、成長したいと思います。宜しくお願い致します。

2. ボランティアシステム活用案内について

・新しいシステムを使用して活動募集や抽選結果の連絡を行っていきます。スマートフォンやパソコンで使用可能ですが、携帯電話(ガラ携帯)の場合は画面が小さく文字が読みにくいと思われます。その際は、スマートフォン

へ切り替えをお願いするか、新しいシステム導入前の従来方法で活動募集などを行います。

- ・本日、ボランティアに関係書類を送付して、7月12日までに登録情報を修正・入力してもらいます。
- ・登録情報の入力が正しく行えないボランティアに対する講習会やヘルプデスクについて、状況を見ながら検討していきます。

3. 今後の日産スタジアム Jリーグ開催予定

- ・7月中の2試合(7/12 FC 東京戦、7/22 横浜 FC 戦)ではボランティア活動なし。
- ・8月中の2試合(8/8 柏レイソル戦、8/23 サンフレッチェ広島戦)の活動について未定です。
- ・ボランティア活動が決定したら、まずボランティア事務局に連絡します。

4. ボランティア活動時の感染拡大予防対策について

- ・受付での健康状態のチェック

ボランティアは活動に来る前に検温や健康状態の確認を行って、「活動者申告書」に記入します。集合受付時に記入内容を確認します。

集合受付する時に受付担当者とボランティアとのソーシャルディスタンスを保つようにします。

- ・より慎重に感染拡大防止対策を行う目的で、非接触型の検温計を用意して、集合受付で検温することができないか検討します。

・301号室の着席時にソーシャルディスタンスを保つために1つの机に1名が座る様に机の配置を検討します。机を配置する際には、前後の距離を確保します。換気対策に十分注意して、前と後ろの扉は常時開放するほか、窓の開放を行います。

・407と420室は換気することが難しいので、コロナウイルスが収束するまで使用禁止とします。東エリアで活動するボランティアの休憩室は301として、移動時間を考慮した休憩時間を計画します。

・活動中はマスク着用で、手指消毒を頻繁に行います。301号室の前と後の扉付近、トイレの洗面所にはアルコール消毒薬を常備します。

・フェイスシールド(マスクのひもにシールドを通すタイプ)を使用して感染を防ぐ装備を検討します。顔辺りが暑く感じるといった意見があり、夏場の熱中症対策には十分気を付ける必要があります。

5. その他

- ・ボランティア保険の特約で新型コロナウイルス感染症が補償範囲となるか、調査します。

6. 部会報告

(1) グリーン&クリーンクラブ(環境・美化部会)

- ①5月中旬にボランティアのみで田植えを行って、稲は順調に育っている。
- ②中央広場の花壇管理や水まきを週1回程度行っている。夏場は週2回程度行う。
- ③かかし作り体験は7月末から8月初めで計画する。一般の家族の参加募集を行うか検討する。

(2) 情報部会

①ボランティア第36号(創立20周年記念特別号)は、スタジアム関係者のご協力によって立派な冊子が出来上がりました。ありがとうございました。本日の事務局会議の終了後、配布作業を行います。

(3) 事務局

①昨年、横浜 F・マリノス戦の7回以上の活動者に渡すチケットの扱いについて、今回 Jリーグ延期に伴い紙チケットが無効となった。代替りのチケットを用意することができるか横浜 F・マリノスと相談する。

2019年度観戦チケット配布予定者の皆さんへのお知らせ

表記の皆様へお知らせいたします。20年度に観戦チケットを配布予定でございましたが、既にご承知の通り本年度は例年通りのチケット配布が出来なくなりました。誠に申し訳ありませんが来年度までお待ちいただくこととなります。本年は試合がありませんので2020年度該当者はありません。従って来年度に改めて2019年度該当の皆様を繰り越しとして横浜マリノス(株)様にチケット申請することを予定しております。

既に観戦希望日予約の方もおられましたが、全ての予約を解消し改めて来年3月の試合日より観戦希望日予約を承ることとなります。現状では来年度がどのような展開になるのか未だ分かりませんが以上のことご了承いただきたくお知らせ申し上げます。

(チケット担当 安田)

※ INFORMATION ※

令和3年1月～令和3年3月の活動予定

月日	イベント名	集合時間	解散時間	要員
1月10日(日)	新横浜公園 凧揚げの日(※)	9:00(予定)	15:00(予定)	20名

※:コロナウイルス感染拡大防止のため中止の可能性があります。また実施の場合にもボランティアの一般募集をせず、経験者や近隣者に活動を依頼する予定です。

写真提供：日産スタジアムスタッフ、安田十四雄、久保勝美

新横浜公園の風景のスナップショット！

2020年は日産スタジアムボランティアにとって、2試合を除いて活動が中止となって厳しい年になりました。ボランティアの中にはステイホームの時間を有効に利用した人がいます。安田十四雄さんは金網やビニールシートを使って人形のような案山子(親子やお犬様や疫病退散の妖怪アマビエ)を作りました。それを見たひとは本物そっくりなので、「リアル案山子だ!」と叫びました。佐藤大治さんが洋服や飾りを付けて仕上げました。リアル案山子は新横浜公園の田んぼの近くでしばらく見ることができます。



手前がリアル案山子(犬をつれた親子)



中央には疫病退散の「妖怪アマビエ案山子」

✂ ✂ ✂ ✂ ✂ ✂ 編集後記 ✂ ✂ ✂ ✂ ✂ ✂

✂ 子どもの頃に見た光景ですが、豊作の稲穂が頭を下げて黄金色に輝いている田んぼには、たくさんすずめが飛び回って新米にあつこうとしています。農家の人は1年間、大切に育てた稲を獲られまいと案山子を作って田んぼに立てました。最近は田んぼに立っている案山子を見ることが少なくなりましたが、地方のイベントとして案山子まつりを開いて、ユニークな手作り案山子を作って、地元の人だけでなく観光客も楽しんでます。

日産スタジアムのグリーン&クリーン部会が主催する「案山子作り体験」のイベントで、今年も近所の親子が参加して案山子を作りました。安田さんが手作りした「リアル案山子」では新型コロナウイルスの疫病退散の妖怪アマビエも加わりました。本誌に写真を掲載しましたが新横浜公園の田んぼに親子が作成した案山子や安田さんのリアル案山子が展示されています。10月末にはハロウィンの飾りが追加されました。公園をランニングしている人も足を止めて写真を撮影しています。グリーン&クリーン部会の佐藤大治さんが過去の作品など「案山子の記録」を取りまとめました。ボランティアルームに置かれているとお聞きましたので、今度楽しみに拝見します。(久保 勝美)

発行・編集：日産スタジアム ボランティア事務局 情報部会

〒222-0036 横浜市港北区小机町3300 日産スタジアム TEL:045-477-5030 FAX:045-477-5002